

大東アーカイブス 第12回 企画展

—大東文化学院創設者たちとその書—

展示期間：平成24年4月23日(月)～平成24年9月28日(金)

(開室時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00)

展示場所：大東文化歴史資料館 展示室(板橋校舎2号館1階)

現在、大東文化歴史資料館展示室では、第12回企画展「大東文化学院創設者たちとその書」を開催中です。

漢学の学校として発足した大東文化学院と設立母体である大東文化協会の創設者たちは、主に漢詩を載せた書軸を中心としながら多くの書作品を残しました。当時の知識人たちの教養を量る大きな一要因となっていた漢学漢詩の力を語る書作品を展示紹介しています。



* 大東アーカイブスの動き * 2011年度 歴史資料館受贈資料について

歴史資料館では、2011年度も多くの資料をご寄贈いただきました。他大学のみならずから出版物や展示のご案内など関係諸資料をご寄贈いただく場合も多く、それらからは大学アーカイブスとしての活動の指針として刺激を受けることが多々あります。この場を借りて御礼申し上げます。

一方で、大東文化学園関係の資料をお持ちの皆様からも年間を通じてご寄贈のご連絡をいただきました。創設関係者の資料としては、大東文化学院初代副会頭（後に第4代会頭）小川平吉関係、大東文化学院開校時より教壇に立った教授川田瑞穂関係のほか、大東文化協会の実質的な創設者と言われる木下成太郎関係の資料や情報などをご提供いただきました。また、卒業生の方々からは、在学中の思い出のサークル活動の記録やその新聞記事、卒業アルバム、卒業証や写真類など大切な思い出の品々を受贈いたしました。学内関係者からも貴重な資料を寄贈いただいています。例えば、昭和13年の『文部時報』に掲載された加藤政之助総長の原稿「大東文化学院の特色と入学志願者への希望」というものや、大東卒業生で米国軍人として東京裁判（極東国際軍事裁判）で通訳として活躍した伊丹明の関係資料など、学内教職員の方々から提供いただきました。

近年のものであっても大学史として整理保存し、記録を残していく必要があります。学部学科創設廃止関係の資料や入試関係の諸資料など、をお持ちの資料でこれだと思うものがあれば歴史資料館（または総務課）へご連絡ください。今後とも学内外の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(歴史資料館運営委員 浅沼薫奈)

<資料寄贈ご協力をお願い>

大東文化歴史資料館（大東アーカイブス）では、学園に関わる資料を広く収集しています。教科書・講義ノートのほか、写真・映像、機関紙・新聞など、ご提供いただけるものや情報がありましたら、お気軽にご連絡ください。ご協力を宜しくお願いいたします。